

展示と対話のプログラム「アートセンターをひらく 第II期」関連プログラム

# 午後のお茶会 「潘逸舟の知らない中国茶会」



午後のお茶会は、「アートセンターをひらく 第II期」で展示されている作品の示す事柄をピックアップし、アーティストやゲストを交えてお茶を飲みながら気軽に語り合う場です。

「潘逸舟の知らない中国茶会」では、本展第I期で招へいアーティスト潘逸舟さんの滞在先ホストだった高井英花さんをお招きし、二人の故郷である中国のお茶を楽しみながら、移り住むこと、異文化での暮らしについて世代の違いを巡りながら話し合います。お菓子もご用意します！

**日時:11/30(土) 14:30 - 16:30**

**会場:水戸芸術館現代美術ギャラリー ワークショップ室「ひらくカフェ」**

**定員:20名(申込不要・先着順)**

**料金:展覧会入場料に含まれます ※お菓子代は有料です  
(一般900円、高校生(同年代を含む)以下・70歳以上無料)**

潘逸舟(はん・いしゆ) 1987年上海生まれ、東京在住  
等身大の個人の視点から、社会と個の関係の中で生じる疑問や戸惑いを、自らの身体を用いたパフォーマンス性の高い映像作品、インスタレーション、写真、絵画など様々なメディアを駆使しながら、真摯に、時にユーモアも交えながら表現している。主な個展に「The Drifting Thinker」(2017/上海MoCAパビリオン)、「私たちの条件」(2017/URANO、東京)、グループ展に「水と土の芸術祭2018」(新潟)、「In the Wake - Japanese Photographers Respond to 3/11」2015/ボストン美術館、米国)、「Sights and Sounds: Highlights」2016/ジュエリッシュミュージアム、米国)など。日産アートアワード2020ファイナリスト。



「アートセンターをひらく 第II期」

2020年に開館30周年を迎える水戸芸術館現代美術センターは、移り変わる社会のなかで今アートセンターに求められる役割を探る企画「アートセンターをひらく」を2期に分けて実施しています。本展では、展覧会を軸に対話と様々な活動を育む場としてギャラリーを活用します。

2019年10月26日(土) - 2020年1月26日(日)  
水戸芸術館現代美術ギャラリー

【出品作家】呉 夏枝、ハロルド・オフエイ、砂連尾 理、末永史尚、潘 逸舟、毛利悠子、エマニュエル・レネ

【開館時間】9:30 - 18:00 ※入場は17:30まで

【休館日】月曜日、11/5(火)、年末年始[12/27(金) - 1/3(金)]、1/14(火) ※ただし、11/4(月・振)、1/13(月・祝)は開館

【主催】公益財団法人水戸市芸術振興財団

交通のご案内:

JR常磐線水戸駅北口バスターミナル  
4-7番のりばから  
「泉町一丁目」下車、徒歩2分

